

第2回天神山小学校保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年3月17日（金）19：00開始
2. 会場 天神山コミュニティセンター
3. 教育部参加者
岡根教育長、能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、財前教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、福原教育総務課主任主事
4. 保護者参加者 11名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
能城部長	1 開会の言葉
	2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
	4 天羽中学校校舎改築について説明
能城部長	<p>天羽中と富津中の校舎建設の検討につきましては、平成14年度におこなわれ、総合的に判断された中、富津中の改築を優先し実施されることとなり、平成19・20年度で富津中学校の改築がおこなわれました。</p> <p>そういった中、国は、平成7年1月に発生した阪神淡路大震災を受け、小中学校の耐震補強につきましては、平成20年6月に改正された地震防災対策特別措置法により、学校設置者に耐震診断の実施及び結果公表の義務付けがなされ、全ての小中学校の耐震補強を優先することとなり、天羽中学校の改築は先送りされ、市内小中学校の耐震補強工事は、平成25年度をもって全て完了したところでございます。</p> <p>その翌年、平成26年度に皆さんもご承知のこととは思いますが、財政破綻報道があり、その後市の経営改革を進める中、平成27年8月に出された中期収支見込に、教育環境の改善が急務であることから、やっと今まで先送りされていた天羽中学校の大規模改修、これは現在の校舎を利用して改修を行うものですが、その予算が計上されたところでございます。</p> <p>天羽中学校が大規模改修とされた経緯につきましては、平成26年に文部科学省から出されたインフラ長寿命化計画により、これまでの建て替え中心から長寿命化への転換による今ある建物を利用した改修方針に沿ったものでございます。</p> <p>そのような経緯から天羽中学校につきましては、当初現在の場所で大規模改修を予定しておりましたが、今年度実施いたしました、耐力度調査の結果、耐力度が基準値に達していない、これは大規模改修に適さない危険な状況と判断されたことから、今回、大規模改修ではなく改築、新しく建て替える計画とされたところでございます。</p>

鶴岡課長	<p>天羽中学校校舎の整備計画（案）について、ご説明申し上げます。</p> <p>天羽中学校校舎の整備については、既存敷地内での建て替え、既存校舎の大規模改修、移転新築について検討いたしました。</p> <p>1つ目は、既存の校舎2棟を解体し、現在の敷地内に新たに適正規模の校舎を建築する計画（案）です。</p> <p>この案では、設計から整備完了までの期間を3年間、概算事業費については、15億円程度と試算しました。</p> <p>2つ目は、既存校舎を大規模改修する計画（案）です。</p> <p>事業期間は3年間、概算事業費を12億円程度と試算しました。</p> <p>3つ目は、新たな場所へ移転し、新築する計画（案）です。</p> <p>この案では、移転先地の選定、用地買収、敷地の造成工事や校舎以外に体育館等の建築も必要になりますので、事業期間は7年以上、事業費は24億円以上と試算しました。移転、新築の場合の事業費については、移転する場所によって用地取得費や必要となる道路等インフラ整備などにより、事業費が更に増加することが予想されます。</p> <p>現在の用地内で校舎を整備する場合、説明会で保護者や地域の方からご指摘、ご要望があった道路や排水を併せて整備する必要があると考えています。</p> <p>3つの整備（案）については、事業期間、概算事業費、生徒の学習環境、建築後の維持管理費など総合的に検討した結果、既存校舎の大規模改修（案）が一番安価となりますが、既存校舎の構造躯体が経年劣化により耐久性が低下しているため、大規模改修する案については、望ましい計画と言えないと評価しました。</p> <p>移転、新築（案）については、移転先の選定や用地買収、造成工事、校舎以外に屋内運動場や武道場などの建築等、事業期間や費用が膨大になること、又、関連するインフラ整備が必要になる可能性もあることなどから、実現性が低く、望ましい計画とは言えないと評価しました。</p> <p>改築計画（案）については、既存校舎の大規模改修計画（案）に比べ概算事業費が3億円程度高くなること予想されますが、大規模改修に比べ、建築後の維持管理費の抑制が見込まれること、多様な学習環境に対応する機能も合わせて整備できることなどから、現在の敷地内で新たに適正規模の校舎を建築する（案）が最も望ましく、実現性の高い計画であると評価しました。</p> <p>改築の場合も国の補助金の活用が見込まれますので、少しでも市の持ち出しが少なくなるような事業メニューを検討していきます。</p> <p>改築（案）を進める場合は、平成29年度に基本・実施設計、地質調査を実施し、平成30年度に既存校舎の解体、平成30年度、31年度に改築工事を実施し、平成31年度末完成を目標とした計画になります。又、道路整備については、早期事業化に向け、進めて参ります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
鈴木主幹	<p>以上で説明が終わりましたが、何か質問やご意見ございますか。</p>
須藤主幹	<p>「アンケート結果及びQ&A」について説明</p>
保護者	<p>6. 質疑 第3子以降の保育料は無料になるのか。</p>
今井課長	<p>無料化になる。平成29年4月から、公立保育所も無料である。</p>

保護者	本当に決定事項か。
今井課長	決定事項である。
保護者	スクールバスの時間は、小・中で変わるのか。中学校が小学校に合わせるのか。
須藤主幹	小学校と中学校では時間を変えて、対応していく。
保護者	金谷7時では遅いのでは。
須藤主幹	金谷からは約30分である。始業時間に合わせて運行していく。
保護者	1台で金谷から相川までを運行するのか。
須藤主幹	これから検討していくが、子どもの居住実態に合わせていく。
保護者	統合に反対している天神山の保護者は少ない。交流で行事ばかりに力を入れて、学業がおろそかにならないようにしてほしい。小中一貫校を作る場合、どれくらいの面積が必要なのか、数字で出してほしい。横浜では、狭い敷地で小中一貫校がある。
今井課長	交流は、例えば環小と関豊小の場合、生活科のまち探検で互いの学区を探検することなどをやっていた。合唱も合同練習を行い、力量を上げていた。おろそかにならないようにしていく。また面積については示した方がよいと思うが、全部を建て直さなければいけないということや野球とサッカーなどが一緒に活動する面積が必要である。活動にあった広さが必要になる。
保護者	中央保育所に通っている。給食センターからも言われたが、保護者の送迎の出入り口を別にしてほしい。事故が起きていないのが不思議である。湊小に車を止めて荷物を運んでいる。木があってとてもじゃまになっている。あの木がないとずいぶん違う。
今井課長	どういう木なのかわからないが、学校によってはシンボルツリーになっているものもある。問題がなければ対応ができる。
保護者	給食センターの駐車場が横にあるから保育園の駐車場が狭い。困っている。
今井課長	給食係等に相談していく。皆さんの利便性を考え、子育て支援課とも相談していく。
保護者	天羽中の近くで歩道が切れるところがある。とても危ない。整備のときにできるなら改修してほしい。
能城部長	私有地だと整備ができない。県道、市道など管理している所管が違うので、相談していかなければならない。場所の確認をする。
保護者	天羽中や小学校は統合することで決定なのか。

今井課長	非常に子どもたちが減ってきている。複式で学習するより、一定の人数の環境にする方が子どもたちにとってはよりよい学習ができると思う。教育委員会としては進めていきたい。
保護者	子供達は人数が多くなるのはうれしいと思う。自分が子どものときは、湊小は人数が多くてうらやましいと感じることもあった。天羽東中の保護者には統合を良いように思っていない人もいる。
今井課長	早く統合してほしいという保護者もいる。環小と天羽東中は同じクラスで9年間やっていかなければいけない。人間関係が固定されてしまい、仲間はずれになった場合はつらいものがある。
保護者	天羽東中の保護者も不安があるので、私の考えを参考にしてもらって良いか。
今井課長	はい。
保護者	なぜ複式学級ではいけないのか。
今井課長	2学年を合わせたときに16人以下だと複式になってしまう。天神山は現在3、4年生が複式である。学校が努力して、教頭や教務主任がなるべく授業に入って単独で授業を行っている。それができない場合は、同じ教室で授業をしている。3年生が授業をしているときは、4年生は自習していることもある。異年齢で学習しているので、下の子は上の子を頼ってしまうこともある。自主性を育てるために、縦割り班で動いている。学校現場はわかっているので、その部分を工夫している。少人数の話し合いだと意見が深まらない。多様な考えの中から答えを見つけることが弱くなり、課題となってくる。
保護者	そういう経験しかしていない場合は、湊小に行ったとき、引っ込み思案にならないか。
今井課長	小規模校から大規模校へ行くときにそんなに心配はいらないと思う。しかし前に出られない子は、先生方で情報交換をして丁寧に対応をしていく。
保護者	しっかり見てくれる先生を入れてくれるのであれば、安心できる。講師の先生が見てくれているが、目配りが不足しているので、年齢、経験がある先生がよい。
今井課長	産休で休んでいる先生がいるので、講師の先生がいますが、天神山小では講師の先生も担任をやるので、力量のある講師を県に要望していく。
保護者	湊小のトイレ改修はどのようにしていくのか。
鶴岡課長	トイレの配管が老朽化しているので、配管工事や洋式トイレにしていく予定である。
保護者	ニュースなどでは、家庭が洋式で、学校が和式なのはどうなのかと思っていた。

保護者	湊小の低学年はおはじきを使わないと聞いたが。
今井課長	平成32年の新入生は教材を統一して購入していく。
保護者	子どもが7人いるので、購入するのは大変である。
今井課長	それぞれのものが個別で替えるので、不足したものだけ購入することができる。
保護者	(案)が外れるタイミングはいつなのか。
今井課長	今、第2回の説明会を行っている。今後、地区でも説明会を開いてほしいと要望があるので、説明会を行っていく。その中で意見を聞いて、保護者の方の理解が深まったと判断したら、教育委員会議で協議し(案)を外していきたい。皆さんの納得する形で進めていきたい。
保護者	天羽中は改築する予定ですか。
鶴岡課長	天羽中は老朽化しているので、改築していく。皆さんの意見を踏まえて進めていきたい。再配置については、個別に条件整備をしていき進めたい。
教育部長	6. 閉会の言葉